

入学案内

本 科

基礎課程・専門課程

あなたが…

「主のためになりたい」と願うなら

学びの一步から踏み出してみませんか

2027



日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央聖書神学校

「主の働き人としての5つのなりたい」

1. 証しができるようになりたい
2. 小グループを導けるようになりたい
3. 個人伝道ができるようになりたい
4. みことばを分かち合えるようになりたい
5. ペンテコステ信仰を継ぐ者になりたい



基礎課程（32 単位）では、ミニストリー概論などを通して「5つのなりたい」を学ぶことを中心に、新約通論、旧約通論、聖書解釈学、教会史など基礎的な神学を1年間学びます。基礎課程における所定の課程を終え、修了することもできます。また修了後5年間は、専門課程に編入することができます。

「より専門的な召しに応えるために」

1. 牧師・伝道師・宣教師への召しに応えるために
2. 専門的な学びに召されていると信じて



専門課程（40 単位）への進級は、本校基礎課程を修了し、学科成績、学習態度を評価したうえで、召しを確認する進級面接を受ける必要があります。専門課程では、基礎課程での学びをベースに、神学の学びを深め、じっくりと2年間学びます。とくに牧師、伝道師、宣教師となる訓練として、実習、学習態度、霊的養いを重要視します。

専門課程卒業者は、本校の推薦を受けることにより、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の補教師学科試験が免除されます。

ATA 認定校として

取得できる資格

4 年制大学卒業者の場合、96 単位取得で Master of Divinity (M.Div.: 牧会修士) または Bachelor of Theology (B.Th.: 神学学士) の学位、72 単位取得で Diploma of Theology (Dip.Th.: 神学専門士) の学位、32 単位取得で Certificate (修了証) を授与されます。Certificate (修了証) 以外の学位は、アジア神学協議会 (Asia Theological Association: 略称 ATA) によって正式に認定されています。

歴史によって積み重ねられた

学習環境

教員は全国各地の教会で奉仕している牧師、伝道師です。クラスを通して専門的知識だけでなく、教員の牧会経験に基づいたさまざまなノウハウを学ぶことができます。

施設はチャペル、図書館 (約 18,000 冊所蔵)、教室、シェアハウスを備えています。学生は、キャンパス内のシェアハウス居住、または通学を選ぶことができます。

2025 年度から、3 単位クラス (必修) と 2 単位クラス (一部必修・選択) を組み合わせて、両者の良いところを生かしたカリキュラムとなります。3 単位は重要な科目について時間を掛けてじっくり学ぶ事ができます。2 単位は特定の事柄を学ぶのに適切なボリュームです。3 単位制度導入により、夏期派遣は 2 ヶ月、冬期派遣は 1.5 ヶ月に伸び、じっくり腰を据えた実践的学びの機会も提供されます。

在学中は毎週の日曜派遣や夏期・冬期の派遣があり貴重な体験を積めます。また、チャペル・祈祷会・金曜日夜の伝道集会による司会・説教・証し・個人伝道の訓練などを重ね、卒業後の即戦力を睨んだ学生指導が充実しています。

学生は、火曜から金曜まで行われるチャペル、週 1 回の祈祷会、友の顔を研ぐ級友 (箴言 27:17)、個人面談やメンタリングを提供する教員によって養われます。学生は正しい神学 (orthodoxy)、正しい実践 (orthopraxy)、正しい心情 (orthopathy) を身に着けることができ、知情意のバランスに優れた修了生・卒業生となることができます。



中央聖書神学校を知る

沿革

中央聖書神学校は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の伝道者養成機関として1950年に開校しました。戦前、弓山喜代馬師によって神召教会内に開設された聖霊神学院からの10名の編入生を含む24名の学生を迎え開校式が行われました。1974年には校舎が完成し、1977年には3年・4年制複式カリキュラムとなりました。その後アジア神学協議会(ATA)に認定され、2000年より中央聖書神学校に改称しました。

2021年に新課程(基礎課程、専門課程)を開始し、信徒伝道者を志す者にも門戸を開きました。2024年にチャペル、教室、シェアハウス、図書館、カフェテリアなどを新改築し、2025年には、世界のセミナリーの潮流である3単位制度を取り入れました。

中央聖書神学校はこれまで国内外で活躍する700名以上の卒業生を送り出してきました。これからも、変えるべきものと変えてはならないものを区別する知恵と、前者を変え後者を貫徹する勇気を与えられつつ、神と人ともに喜ばれる神学校を目指して参ります。

学びの一步を踏み出すための

学び方Q&A

Q1. CBCで学ぶ魅力は何ですか？

A ペンテコステ神学教育を施す人材が豊富なことです。教師陣は専門分野についての深い理解と高い学位を持ち、かつ牧会経験が豊富です。教団・教会との連携の中で、共に学生を育て上げる態勢が整っています。学生は知的・実践的・人格的に質の高い訓練を受けることができます。

Q2. 本科（駒込キャンパス）で学ぶ魅力は何ですか？

A 何といても、学びに集中できることです。様々な社会的責任を振り切って本科に入学することは犠牲を伴いますが、その見返りも大きいです。祈りとみ言葉への専念、よき級友や恩師との出会いと深い交わり、忙しさの中で細切れ時間を上手に使う訓練など、駒込キャンパスだからこそ得られることが多くあります。駒込キャンパスは、戦後復興と共に教団創立、神学校設立がなされ、多くの方々の祈りが積まれ、献身者を輩出した地です。

Q3. 収入源を断って入学することに躊躇します。

A 主の召しを受け、母教会の牧師も後押しするなら、経済のことも主にお委ねして受験ください。学費については神学校奨学金を申請することができます。専門課程卒業後、当教団に加入し、5年間教団教職として奉仕した時点で、奨学金は貸与から授与に切り替わります。加えてキャンパス内施設に居住する学生は、必要があれば生活費を補助する「ダビデの石」奨学金も申請できます。こちらは貸与で、卒業後、返済計画表を提出し、15年以内に返済を完了すれば良いものです。但し、授業料に対する奨学金と同様に、卒業後、教団教職として5年間奉仕した時点で、一定額が貸与から授与に切り替わります。